

# 健伸幼稚園の自然体験の学び

～子どもはより子どもらしく～

田んぼの体験

健伸の森あそび

ビオトープを守る

土山あそび（泥山）



# 健伸幼稚園の自然体験の学び

～子どもはより子どもらしく～

## 【1. 健伸田んぼ】

代掻き 4月

田植え 5月



## 稲刈り



✓

## 脱穀



## 人力精米



いよいよお米パーティーはじまるよ!

お米をといだり、看板作ったり、薪を用意したり、たくさんお仕事あります。





- 4月 代掻き
- 5月 田植え
- 6月 案山子作り
- 5月～8月 草取り
- 9月 稲刈り



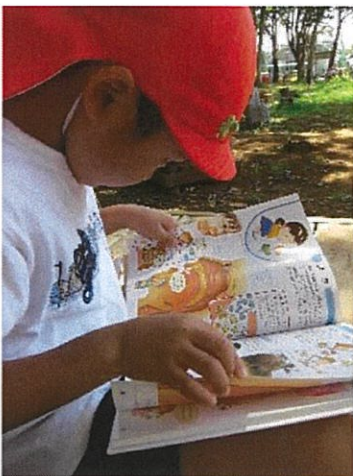
田んぼプロジェクトを中心に働いたお米作り。ようやく、みんなのお口にほおぼることができました！  
『美味しい！』『おかわり！』



## 【2. 健伸の森】

健伸の森は、幼稚園からバスで30分ほど。ちょっとしたミニ遠足です。立派な遊具はないのですが、大きな敷地に何本もの大きな木や草花、田んぼ、畑、カブト虫の小屋、ザリガニ池があるのでそれで充分です。自分たちで考えて、遊びを作り出しています。園をでて自然いっぱいの森。空気もおいしい！





### 【3. 健伸のビオトープ】



茂木の森は、太古より人が関わり続けてきた「里山」といわれる森です。1998年秋、サーキットを取り囲む里山の森は、忘れ去られ荒廃していました。クルマやバイクの排気音が聞こえる里山に、シノダケをかき分け、足を踏み入れると、そこは一面どんぐりの海でした。物言わぬどんぐりたちは、「次代に生命をつなぐんだ！」と強烈なメッセージを発しているかの様に思えました。排気音と無言のどんぐりたち…

ホンダのサーキット場ハローウッズに今から20年以上前、視察にいきました。この出会いが、健伸のビオトープの始まりです。どこに作ろうかと思案しているとき、柴田理事長が足洗い場を変えようと。その後、2005年にはドイツの森の幼稚園に視察に出かけ、自然体験教育の大切さを本格的に学び始め、森を開設しました





4月、年長の松組のビオトープ・プロジェクトのメンバー中心にきれいになったビオトープには、メダカ、フナ、金魚、鯉、ザリガニ、ドジョウ…  
たくさんの生き物が大喜び。年少の子どもたちも楽しそうにのぞいています。





#### 【4. 山あそび（泥山）】



平成8年（1996年）5月、園庭に巨大な土山が2つ現れました。朝、登園した子どもたちびっくり！

園舎増築の基礎工事で掘起こした膨大な量の土をどこにもっていくかを検討。園庭に移動することに決定。

子どもたちが我こそはと山に這いつくばりながら登り大歓声をあげていました。それ以来、毎年柔らかな土山に年少がまず登り土の感触を味わって、踏み固まった土山は水をかぶり泥山に…

子どもたちは、心身共に開放されていきます。